みんなで考え、みんなでつくり、みんながつながる地域づくり。

おかがき 話し合いの場・ニュース

2018.6.2　vol. 7

【作　成】社会福祉法人 岡垣町社会福祉協議会
【問合せ】岡垣町役場長寿あんしん課（松山・社川）☎282-1211 ／ 岡垣町社会福祉協議会（江口・田之上）☎283-2940

話し合いの場、２年目がスタート。

いこいの里／参加者 44 名

地域での助け合いや支え合いについて自由に意見を交換しながらアイデアを出しあい、それらを具体的に実現するために、昨年度から始めた**「話し合いの場」**の２年目がスタートしました。

第１回は、44 名（地域住民 21 名、民生委員･児童委員８名、事業所等 15 名）の参加のもと、まずは昨年度の取り組みをふり返り、あらためて「話し合いの場」に取り組む意義を共有しました。

昨年度から引き続き参加の方も、今年度から初めて参加する方も、お互いに意見を出し合って“みんながつながる地域”をつくっていきましょう！

本日のプログラム

1．開会
2．平成 29 年度のふり返り
3．なぜ「話し合いの場」を行うのか
4．グループ編成（８グループ）
5．事例紹介－福岡市 早良区 小田部校区－
6．グループワーク
　みんなが集まって気軽に話せるサロンとは
7．企画運営委員決め、閉会

おしらせ

企画運営委員が決まりました！

第１回のグループワーク終了後、参加者の中から互選により決定した３名に加え、事業所から２名、民生委員・児童委員から１名が決定しました。６名は、今後の企画会議への出席等の役割を担います。

筒井信秋さん（高倉区）　北川敏幸さん（手野区）　森設二さん（旭東区）

栗原恭子さん（事業所）　善　亘さん（事業所）　平竹裕司さん（民生委員）

“話し合った”ことを活かし、“取り組む”ために

昨年度、全６回開催した「話し合いの場」では、たくさんの貴重な意見が集まりました。決して、ただ話し合っているだけではありません。地域の中で必要とされることやアイデアを集めながら、できることから既に動きつつ、みんなで無理なく長く続く取り組みを創り出すための場です。

【平成２９年度】
いま取り組むべきことを把握し、主にサロンの課題を解決するために話し合った。

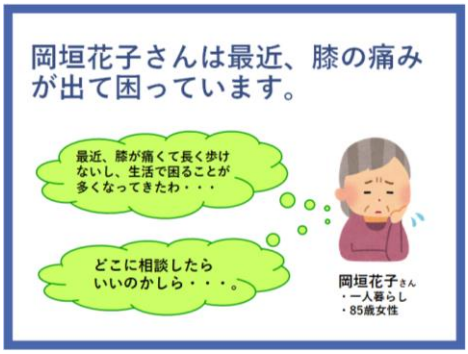
→

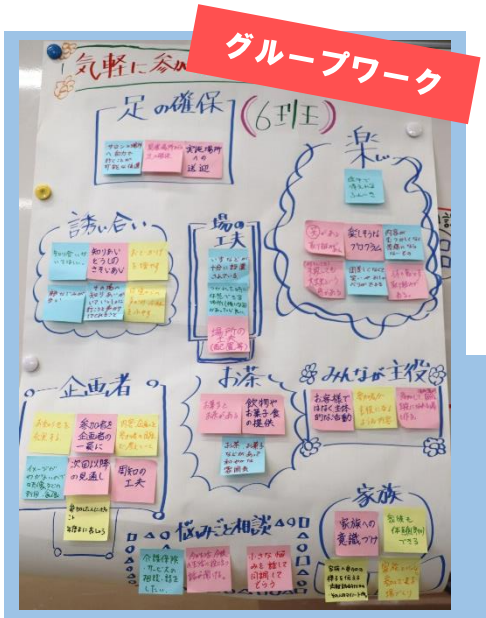
【平成３０年度】
地域の課題や困りごとを解決するための方法について検討する。

→

【平成３１年度】
地域の課題や困りごとを解決するための取り組みを開始、またはサポートする。

みんなが集まって「気軽に参加できるサロン」に必要なことは？





①各自ポストイットに意見を書く
②グループ内で意見を出し合う
③意見を項目ごとにまとめる

現在、各自治区で行われているサロンが、これから事業所等の協力を得ながら「相談できるサロン」となるためには、まずはそこに人が集うことが前提となります。そこで、“気軽に参加できるサロン”に必要なことについて、８つのグループに分かれて意見を出し合いました。（※下表参照）なお、「事業所ができること」については、まずは介護サービス事業所からアンケートを実施し、集計後に【ふれあいサロン応援事業所一覧(仮)】として地域のみなさんに伝えていくための準備を始めています。

各グループの意見集約

解答項目	ｸﾞﾙｰﾌﾟ数
企画・内容	6
場所	6
PR・呼びかけ	6
移動	4
対象者	3
相談・専門職	3
食事・お茶	2
開催日程	2

解答項目	ｸﾞﾙｰﾌﾟ数
イメージ	1
改善	1
顔見知り	1
家族	1
協力	1
情報収集	1
楽しい	1
楽しみ・生きがい	1
みんなが主役	1
名称	1
レクリエーション	1

次回の日程は、８月１８日(土)の９：30～12：00、会場はいこいの里団体研修室です